

—地域に飛び出す市民国際プラザ—

OTICADセミナーシリーズ第2回「乳幼児の栄養不足改善：アフリカでの取り組み」 世界銀行主催、市民ネットワーク for TICAD後援

日時：2015年12月4日 18:30-20:00 場所：世界銀行東京開発ラーニングセンター

乳幼児の栄養不足の改善について、世界銀行のアフリカにおける取り組みや、日本企業とNGOが共同で取り組む「ガーナ栄養改善プロジェクト」の実施団体から子どもの栄養管理の重要性、ソーシャルビジネスの展望などのお話を伺いました。

企業がNGOと共同するメリットとして、NGOは現地の人と信頼関係が出来ているため、NGOと連携することで、企業が実施する事業に現地の人から協力をもらえると話していました。



SDGsでも飢餓や健康の問題が取り上げられています

○茨城NPOセンター commons 常総市における災害支援活動

日時：2015年12月7日 15:00-18:00 場所：茨城NPOセンター commons

2015年9月に発生した関東・東北豪雨の災害時支援活動について、お話を伺いました。茨城NPOセンター commonsは、社会のために何かしたい人、NPOという道具を活かしたい人を応援することで、組織の壁・心の壁を越えて、人がつながり共に行動する市民社会の実現を目指して活動しています。具体的には、NPO同士の連携やNPOと他セクターの連携、人材育成等を実施しています。

関東・東北豪雨の災害時には、避難所での支援活動や在住外国人向けの情報収集・発信、自治体や社会福祉協議会、NPOを繋げる役割等を担っていました。



被災した茨城NPOセンター commons事務所



支援活動の様子



災害時ごみの集積場所の様子

○ JANIC会員の集い2015

第1回NGO組織強化大賞 エイズ孤児支援NGO・PLASが受賞！

日時：2016年1月19日 15:00-18:30 場所：ちよだプラットフォーム

NGO組織強化大賞では、各NGOの優れた組織強化の取り組みに対し、表彰が行われました。近年特に力を入れ、確かな実績をあげ、今後さらなる発展性を持った取り組みや事例を共有・評価することで、NGO全体の組織強化を目指します。

第1回NGO組織強化大賞は、来場者と審査員の投票により、部門賞を受賞した4団体の中から決定されました。来場者の「自団体への参考ポイントの高さ」、審査員の「NGO全体にとって最も参考となる取り組み」という観点で投票され、**エイズ孤児支援NGO・PLASの「すべてはエイズ孤児のために～残業ゼロ&多様な働き方で寄付収入300%UP！プラスの働き方革命～」**が、**出産・育児を抱える女性の多い職場での働き方改革を実現し、更には、本来業務における躍進的なプラス効果を生み出した成果が評価され、最多得点を獲得し、大賞に輝きました！**



○第18回自治体とNGO/NPOの連携推進セミナー開催報告

多文化共生社会における災害時支援を考える

～平成27年9月関東・東北豪雨における多様なセクター間の連携～

日時:2016年1月25日 13:30-16:30

場所:自治体国際化協会 大会議室

今回のセミナーは、平成27年9月関東・東北豪雨で大きな被害を受けた茨城県常総市の災害時支援において、自治体や地域国際化協会、NGO/NPO等がそれぞれどのような活動を実施したのか、また関係機関の連携がどのように行われたのか、実際に支援活動を行った茨城県国際交流協会、茨城NPOセンターコモンズ、群馬県大泉町から3名が登壇し、活動紹介をしました。

さらに、オープンディスカッションを通して、**実際に被災すると、被災者側から支援要請を出すことが困難であること**など、災害時支援活動における課題とその解決の糸口について考え、平時からの自治体間支援連携、災害時の防災無線やSNSなど情報伝達ツールの準備や使い分けの必要性などがあげられました。

また、外国人住民が支援される存在ではなく、支援の担い手となってもらうため、平時からどのような関わりが必要なのかについても考え、日頃から顔つなぎの関係を作っておくことや、キーパーソンとなる人に事前に災害時支援について話しておくことなど、ヒントとなることがあげられました。



茨城県国際交流協会 岩本氏



茨城NPOセンターコモンズ 横田氏



大泉町 加藤氏



オープンディスカッションの様子

○北海道函館市 誰もが活躍できる社会を考える

日時:2016年1月21日 場所:北海道国際交流センター

北海道国際交流センター主催のフォーラム「一億総活躍時代を創る」に参加しました。このフォーラムでは、国籍、障害、ジェンダーなどを越えて、誰もが活躍できる地域づくりを参加者とパネリストが一緒に考えました。

パネルディスカッションでは、「人生経験が豊富な人たちがアドバイスできることで、社会的弱者と言われる人を含めて、地域につながりが生まれるのではないか」などの意見が出されました。また、韓国からの参加者は、「よりよい世の中にするために正しい選択を模索する日本の皆さんのパワーを感じた」と話していました。



一函館でも！飛び出す市民国際プラザ

北海道教育大学の留学生と交流。市民国際プラザやNGOの活動等について、質疑応答を行いました。



市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために、
市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします♪
現在の市民国際プラザ「いいね！」数 **387件**

(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp